



# 一本道

相良中学校通信

令和4年4月13日

校長 吉田憲一

はじめまして、令和4年度、校長として赴任してきました吉田憲一です。生徒の様子や先生方の様子を、不定期的にこの学校通信やホームページで紹介していきます。よろしくお願いいたします。

## 1 自己紹介①

自然と触れ合うことが大好きです。相良にまつわる趣味を紹介します。それは、ジョギングです。1年ほど前から、週末の早朝、相良運動公園に車を止めて、30分から1時間ほど、相良村内をランニングしていました。川辺川沿いのコースも好きです。まだ、工事中で車両通行止めの時から走っていました。雨宮神社は、パワースポットですね。お賽銭を入れ、お参りし、シャンシャンくぐりをくぐりました。この相良中学校にも、3回ほどお邪魔しました。早朝で、誰もいませんでしたが…。グラウンドも走りました。



## 2 「一本道」ってどんな意味？

「曲がりなりにも一本道」私が一番好きな言葉です。相田みつをさんの言葉です。曲がったとき、つまり、悩んだり迷ったりしたとき、道は大きく太く成長します。そのような人生を送りたいと思っています。生徒一人一人の「一本道」を、職員19名が全力で支え、育てていきます。よろしくお願いいたします。

## 3 生徒による音楽指導、まさに自治力！

4月11日の午前中、入学式の通し練習後に、校歌の練習がありました。宮原君と坂本さんをはじめとした生徒会のリーダーたちが、前に出て、自分たちで指示を出し、グループ分けをし、練習を始めたのです。この光景が実に素敵でした。まさに「率先して汗する姿」でした。相良中生の自治力は高いです。頼もしく感じました。

入学式では、練習の成果もあり、新入生の後方から、迫力ある校歌を響かせた2・3年生でした。



## 4 行動のもとには、心あり！

4月4日部活動の見学で回っていると、「ぞうぞ」といって、パイプ椅子を持ってきてくれました。2年生の田山もなさんでした。素晴らしい心遣いに関心しました。

4月5日の朝、車を降り、玄関から入ろうとすると、私の背中に挨拶をしてくれる生徒がいました。3年生大山田とあくんでした。顔を見ての挨拶は当たり前ですが、自分の前を過ぎている人に対しても挨拶をする。実にかっこよかったです。相良中の生徒は、心が育っているなあと感じました。

始業式と入学式で、この出来事を話しました。4日目ですが、背中に挨拶。しかも、元気のいい挨拶が実に多くなってきました。